

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

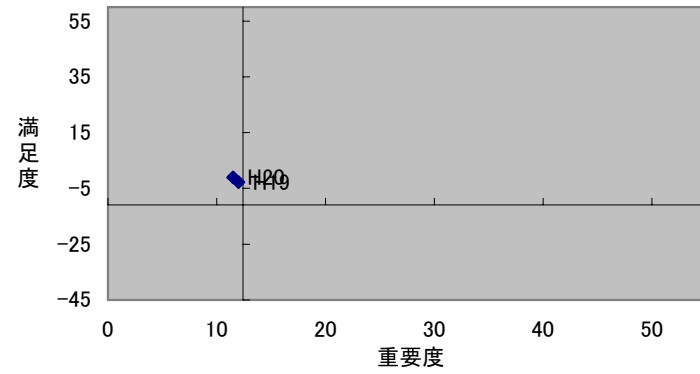
施策名 (小項目)	健康づくり	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-06	氏名	岩崎 透	
			電話	64-1819	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の健康づくりリーダーである愛育委員や栄養委員を養成し、市民の健康に対する意識を高め健康増進を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	「健康びぜん21」に基づいた保健事業を展開し、市民の健康寿命の延伸を図り、QOLの向上を期すが、これらを市民協働で実現できるよう健康づくりリーダーの養成や組織育成を行いマンパワーの充実を推進する。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 健康診査受診啓発活動 地域における食育活動 健康づくりの基盤整備 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	12.0	11.5	
満足度(%)	-2.8	-1.1	



高
↑
満足度
↓
低

低 ← 重要度 → 高

平均

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	自分の健康に気をつけている市民は増加している。 (平成18年度調査 88.1%、平成19年度調査 88.4%、平成20年度調査 90.9%)
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 自分の健康に気をつけている市民の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	93.0	95.0	100.0	市民意識調査
	実績	%	88.1	88.4	90.9				
	達成率	%	88.1	88.4	90.9				
2 愛育委員研修会の参加率	目標	%	83.0	83.0	85.0	85.0	90.0	90.0	愛育委員会活動
	実績	%	80.5	82.4	82.6				
	達成率	%	97.0	99.3	97.2				
3 栄養委員研修会の参加率	目標	%	78.0	78.0	85.0	85.0	90.0	90.0	栄養委員会活動
	実績	%	75.0	80.0	85.0				
	達成率	%	96.2	102.6	100.0				
4 愛育委員一人当たり担当世帯数	目標	戸	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
	実績	戸	38.3	38.5	39.8				
	達成率	%	95.8	96.3	99.5				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1	B	愛育委員会事業	その他単市	3,778	10,377	1.62	3,791	9,005	1.45	3,547	7,454	1.16	☆☆☆	\$\$\$	3,546
2	B	栄養委員会事業	その他単市	2,317	7,347	1.12	2,236	9,285	1.30	2,114	11,043	1.57	☆☆☆	\$\$\$	2,044
3	D	健康づくり推進協議会事業	その他単市	52	425	0.05	20	505	0.05	65	1,136	0.17	☆☆	\$\$	2,812
4	B	献血事業	その他単市	0	2,323	0.38	0	2,200	0.55	0	881	0.32	☆☆	\$\$	0
5	A	救急医療事業	その他単市	3,400	756	0.11	3,309	885	0.10	3,282	474	0.06	☆☆	\$\$	3,558
6	C	保健センター管理運営事業(庶務事務)	施設維持管理	6,610	16,490	1.85	3,554	760	0.10	2,231	474	0.06	☆	\$\$	2,049
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				16,157	37,718	5.13	12,910	22,640	3.55	11,239	21,462	3.34			14,009

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	4	健康づくりリーダーのレベルは向上している。	4	健康意識を高めながら、さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	4	健康づくりの基盤整備ができる事業構成となっている。	3	事業構成は妥当であるが、委員定数の見直しが必要である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	4	個人情報保護の観点から健康管理機能の強化と、地域との信頼関係構築は両立している。	4	健康への意識高揚が図られており有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	健康づくりリーダーの愛育委員・栄養委員の研修機会を増やし、リーダーの知識をより高めるとともに、地域ボランティアとして活動できるよう、個々の人材育成に努める。		地域住民と委員との信頼関係が重要である。各家庭の状況把握が難しくなっている今日、気軽に相談ができるようコミュニケーションづくりを図ること。	
二次評価者コメント 役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠	市民への健康意識の高揚は、愛育委員・栄養委員の活動が欠かせない。各地域での検診勧奨、情報伝達など地道な活動が検診率を上げている。さらに、関係機関と連携を強化して一人ひとりの健康意識を高めていく必要がある。			基本施策への貢献度 4やや高い